

特集

オフィス ニューノーマル

Newsクローズアップ

- 「7月豪雨」九州を蹂躞
- 米マッキンゼーが予測する建設産業の未来

トピックス

建築の創造性を解き放つ金属3Dプリンター

新型コロナ法律相談

感染症対策で契約書を見直すべきか

フォーカス建築

弘前れんが倉庫美術館、歴史の重みを美術館の個性に

マスク顔認証+検温
発熱した人を入り口ゲートでブロック

立ち止まらずに
ゲートを通過

〔写真1〕ソフトバンクの本社では顔認証と検温を実施
顔認証と検温を同時に実施する「AI温度検知ソリューション」をセキュリ
ティーゲートに設置したイメージ（左）。ソフトバンクの本社に20台、試験導
入した（中央）。AI顔認証端末の上にサーマルカメラを組み込んでいる（右）
（写真：左は日本コンピュータビジョン、中央はソフトバンク、右は本誌）



ソフトバンクは2020年3月、約1万5000人が勤務する本社の1階エントランスに「AI（人工知能）温度検知ソリューション」の端末を20台、試験導入した〔写真1〕。顔認証でセキュリティーゲートを閉鎖すると同時に非接触で検温する。社員は、マスクを付けたまま、認証や検温を気にする様子も無く通過していく。社員以外や発熱の疑いがある人が通過しようとするゲートは開かない。

提供するのは、ソフトバンクの子会社で画像認識技術を持つ日本コンピュータビジョン（東京都千代田区）。「入社時に社員の検温を義務付ける企業も出てきた。だが、検温には時間がかかるため、入社ピーク時には

行列ができることもある。AI温度検知ソリューションは、こうした課題を解消する。同社営業&マーケティング本部マーケティング部マーケティング課の中島幸孝課長はこう語る。

AI温度検知ソリューションは、AIを活用した顔認証端末とサーマルカメラを組み合わせている。個人認証と検温に要する時間はわずか0.5秒。社員の入退館と健康状態の記録を一元管理できる。

顔認証については、顔写真を登録する段階で、1万~2万点の特徴を抽出する。このうちの一部でも認証できるので、マスクを着けていても目元などの特徴で認証が可能だ。

検温については、顔認証技術で額

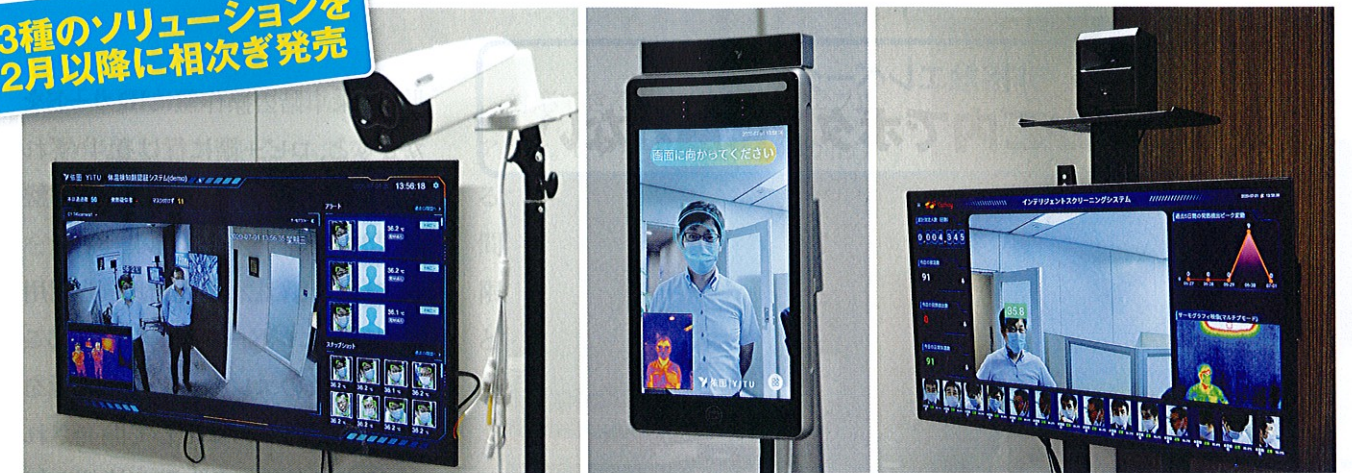
を特定し、11万点の温度を測定。一番高い温度で判断する。前髪などの影響を受けにくい。

16人の検温と認証を同時に

新型コロナウイルスの感染が拡大して以降、顔認証と検温を同時に行うソリューションを提供する企業が次々と登場している。AI画像認証を手掛けるベンチャー企業や、セキュリティーゲートの販売会社など様々だ。アイリスオーヤマも参入した。

複数人を同時に認証・検温することで違いを出しているのは、画像処理技術を手掛けるザインエレクトロニクスとその関連会社のキャセイ・トライテック（横浜市）だ。

3種のソリューションを
2月以降に相次ぎ発売



〔写真2〕ホール型、ゲート型、サイネージ型の3種を発売
ザインエレクトロニクスと関連会社のキャセイ・トライテックは2月以降、顔認証と検温ができるソリューションを相次いで発売した。左から、16人同時に検温と認証ができるホール型、1人に対応するゲート型、ホール型を改良して設置や移動をしやすくしたサイネージ型（写真：本誌）

キャセイ・トライテックは、2月以降相次いで3種のソリューションを発売した〔写真2〕。最初に発売したのは、最大16人を同時に認証・検温する「ホール型AI顔認証検温ソリューション」だ。一定の温度を発する恒温発生器を基準として用い、これと比較して複数人を検温する。このため、現地にカメラと恒温発生器を設置する必要があり、その位置変更には専門技術者のノウハウがいる。その課

題を解消したのが5月に発売した「サイネージ型」だ。恒温発生器を内蔵して、システムをコンパクトにした。設置や移動が容易になった。また、一人ひとりを近距離で認証・検温する「ゲート型」を4月に発売している。

認証と検温に加え混雑度も

NECは7月、生体認証と検温に加え、施設の混雑度対策を組み合わせたトータルなソリューションの提供を

始めた〔図1〕。

NECの特徴は、顔認証に加え虹彩認証技術を有している点だ。高いセキュリティーレベルを実現できる。

映像分析技術では、エリアごとの人数カウントや混雑度モニタリングを実施する。この結果をサイネージで社員に伝えたり、管理者へ通知したりする。また、映像からマスク着用の有無を検知し、サイネージを通じて気づきを促す。

自社のゲートで設置環境や
認証速度を検証



〔図1〕生体認証と検温に混雑度のソリューションを組み合わせる
NECの本社ビルでは、セキュリティーゲートに顔認証を試験導入して、設置環境や認証速度を検証している（左）。混雑度合いを利用者にサイネージで伝えるソリューションも提供する（上）（資料：左は本誌、上はNEC）